

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年3月10日

事業所名：第2こぼと園 保護者数106人 配布数98人 回収数78人 割合79.6%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	63	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのびと活動できている（2）</li> <li>・外遊びも室内遊びも十分に遊べるスペースがある（2）</li> <li>・外のスペースがもう少し広くてもいい（4）</li> <li>・6人にとっては十分である</li> <li>・他の事業所よりは行動範囲が広い</li> <li>・生き物がとれる環境だとよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園庭が狭いため、散歩や近くの公園での運動遊び、山や海などの園外活動などを大切にとりこんでいます。</li> <li>○部屋は広いですが、グループの人数や子どもの状態によって2つのグループに分けてできるだけじっくりと活動できるようにとりこんでいます。その際の部屋の確保に努力しています。</li> </ul>
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	61	13	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちよどよい」(4)</li> <li>・専門性を持ってよく見てくださっている（2）</li> <li>・二人体制だが、一人が初めてなためフォローは難しい状態だと思う</li> <li>・専門性といわれると少し物足りない。専門性は経験年数にもよるがムラがある</li> <li>・子供が崩れた時や抱っこをせがむとき、先生がかかりきりになり他の子どもは見てもらえないこともあるので、希望としてはもっとたくさんの職員の配置がほしい</li> <li>・少ないと感じる。親子通園だからか？</li> <li>・遊び中心だから今はいいけど、排泄の自立にむけての取り組みなどするなら先生が足りないと感じる</li> <li>・子供の人数が多い時は先生が足りないと感じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の配置基準は満たしていますが、より丁寧な支援ができるように、又、子どもの見方やとりくみについてより適切に行えるよう、職員の質の向上に努めます。</li> </ul>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	57	13	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中、外、絵本の部屋と分かりやすい構造で、迷子になることがない。</li> <li>・靴箱、靴置きにマークが描かれてあり分かりやすい(2)</li> <li>・場所により靴・タオル・水筒など置き場所が決まっているところと全くないところの差が大きい。</li> <li>・バリアフリーにはなっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2こぼと園は、元NTTの古い店舗をお借りしています。子どもたちにとってより良い環境になるように改修や修繕、様々な手立てを行ってきました。引き続き、皆様からのご意見を参考にしながら、子どもにとってより良い環境づくりに努めます。危険箇所は迅速に改善に努めます</li> </ul>
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	60	15	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床がいつもきれいで、モノがほとんど置かれていないのがよい(2)。</li> <li>・室内を広く走り回れている</li> <li>・建物が古くなっているのが気になる</li> <li>・いつも清潔にしてあり心地よく過ごせている</li> <li>・築年数が経っており清潔さは感じにくい</li> <li>・活動に関係ないおもちゃが目に入ると遊んでしまうので(段ボール車など)倉庫に入るといい。</li> <li>・室内の扉で危ないと感じることがあり、私も痛い思いをしたことがあるので対策を取ってほしい</li> <li>・教室が狭い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○清潔で心地よい環境であるよう努めます。皆様のご協力をお願いします。</li> </ul>
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	70	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく考えて作成してくださっている(2)。</li> <li>・保護者の要望に応じてくださっている</li> <li>・体のぎこちなさがあるので、専門的な身体を使うトレーニングがプログラムに入るとうれしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2こぼと園では、お子さんと保護者の方に一緒に通ってきていただき、楽しい遊びや体験を通して発達の手を育て、意欲的で安定した生活が送れるようにとりこんでいます。(発達支援)</li> <li>そして、親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元氣と見通しが持てるように支援したいととりこんでいます。(家族支援)</li> <li>また、保育所や幼稚園・こども園などと併行通園されている方は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援しています。(地域支援)</li> </ul>
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	64	8	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに合わせた支援内容が設定されている。</li> <li>・支援内容を具体的に書かれていてわかりやすい</li> <li>・困りごとへの見守り、声掛け、対処法など、親と方向性を合わせて療育に参加できるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これらガイドラインに沿った内容で児童発達支援計画を立てています。一人ひとりのニーズに合わせてより適切な支援に努めます。</li> </ul>
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	65	11	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿って行われている(2)</li> <li>・集団療育なので、わが子だけの支援計画に沿った支援は難しいと思う</li> <li>・その場その場で柔軟に変えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これらガイドラインに沿った内容で児童発達支援計画を立てています。一人ひとりのニーズに合わせてより適切な支援に努めます。</li> </ul>
	⑧ 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	72	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても工夫されている。多少固定化しているのも安心できてよい。</li> <li>・いろいろな体験をさせてもらっている(3)</li> <li>・毎月違うテーマで遊ぶことができ楽しく通えている(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的に保育所等との併行通園をされている場合が多いので、障がいのない子どもと活動する機会があるととらえています。</li> </ul>
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	40	9	15	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育懇談会以外には、何か幼稚園と連絡をとったりされているのでしょうか</li> <li>・保育園の先生が来てくれることはとてもありがたい。保育園の先生とじっくり話ができるので自分にとっても貴重な時間。</li> <li>・障害のない子との交流はない</li> <li>・保育所の子どものとの交流の機会が増えるといい</li> <li>・時々ゆめなの園庭開放を利用させてもらっている</li> </ul>	

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	73	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく説明を受けた。</li> <li>・いつもわかりやすく説明してくれている</li> <li>・年度初めに丁寧に説明されている(4)</li> </ul>	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	66	7	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても時間をかけて丁寧に計画作成を説明してくださった(2)。</li> </ul>	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	58	15	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしたらよいのか分からないときに対応の仕方を教えてくださった。(4)</li> <li>・「障害の特性を踏まえたほめ方」を教えてください</li> <li>・活動中に先生の姿を見て学ぶことは多いが、ペアトレとして行われているとは思っていない。機会があれば受けてみたい</li> <li>・行われているが、活動中は保護者と先生が話す時間がないのもっと時間を取ってほしい</li> <li>・連絡帳を活用している(2)</li> </ul>	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていくか	68	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回話し合いの場がもたれているので相談しやすい。(3)</li> <li>・先生と個別で話す時間がなかなかない。</li> <li>・個別に話す時間は持ちにくいので連絡帳に書くようにしている</li> <li>・行われているが、共通理解をするには伝え合う時間が少ないと感じる</li> <li>・必要があれば声をかけてもらって相談に乗ってもらっている</li> </ul>	○親子で通っていただき、親子で一緒に遊び、活動し、活動終了後には保護者懇談の時間を必ず取り、活動の意味やこどもの様子について話し合います。その中で、できる限り、丁寧に説明したり、考えあったり、共有したりすることにとりこんでいます。直接対話、電話、連絡帳などの方法で意思疎通を図ります。時間の限られた中ではありますが、工夫と計画性を持って努力したいと思います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	66	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回話し合いの場がもたれている。</li> <li>・昼食後の先生を交えての話し合いはとても有意義なものだと思う</li> <li>・個別面談や相談等助言していただけてとても助かっている。(2)</li> <li>・途中からの入園だったが、次年度のことなどは面談や電話で話ができ心強いと感じた</li> </ul>	○日々の親子通園、保護者懇談に加えて、学習会や保護者教室、又前期・後期の保護者とのまとめの会などを行い、子どもの状態や課題などについて共通理解しとくみを進めて行きます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	64	9	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習会が年数回行われている。</li> <li>・保護者会等の案内が配られている</li> <li>・毎回の保護者の話し合いがよい(2)</li> <li>・保護者同士の悩みを出し合ったりする時間が少ないこともあり、保護者同士の交流の機会が少ない</li> </ul>	○今回も、事業所の保護者評価、自己評価をもとに、園のあり方や支援の在り方を見直し、よりよいものにしたいと思います。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	63	11	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや親の状態を理解し、適切に対応してくださっている(2)。</li> <li>・自分の対応が子どもにとってよかったのかなど不安になった時、その都度先生に相談するとアドバイスを下さり不安が解消する</li> <li>・相談した際にすぐに時間をとってくださり、相談内容に対応して下さり大変心強い(2)</li> <li>・とてもためになる話が聞けて満足している</li> <li>・相談しやすい雰囲気ですいろいろと聞くことができる</li> </ul>	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	68	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく気配りされている。</li> <li>・個別には難しいが、活動後の話し合いで療育の内容やかかわりは伝えてもらっている</li> <li>・毎回話の時間を設けてくださっているが、なかなかゆっくり話せないのが活動の前や終了後に相談する時間があるといい。</li> <li>・連絡帳を活用している。相談しやすい。</li> </ul>	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	62	4	3	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、月末に翌月の予定をプリントして下さるのでわかりやすい。</li> <li>・会報で確認できている</li> <li>・HPを随時更新してほしい。行事などあらかじめ分かっていることは早めにアップしてほしい</li> </ul>	○社会福祉法人「ゼノ」少年牧場の機関紙「ふれあい」や本体施設「ゼノ」こぼと園が発行している「こぼと園だより」を配布しています。あわせて第2こぼと園の月々の予定表を兼ねてお知らせを配布しています。 ○「ゼノ」少年牧場のホームページをリニューアルする予定です。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	70	2	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たぶん大丈夫だと思う。</li> <li>・特に不安に思ったことはない</li> <li>・スマホでの写真などにも留意されていてよいと思う</li> </ul>	○個人情報の取り扱いについては、入園時に同意していただいています。 ○お互いを知り合い理解し合うことと、個人情報の保護とのバランスをとりながら保護者支援をしています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	49	7	3	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症についてはプリント等で説明されている。</li> <li>・訓練はなかったように思う</li> <li>・訓練されているのかわからない</li> </ul>	○避難訓練は、各グループ年1回は実施するように計画していますが、欠席などの場合には経験できない場合もあり、検討が必要です。 ○地震や津波に対する避難訓練や対応については、早急に訓練を実施できるよう計画したいと思います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	46	6	8	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練はしたことがない(3)。</li> <li>・子どもや保護者はしていないが、職員はされていたと思う</li> </ul>	○全国いたるところで様々な災害が生じている状況もふまえ、緊急時の気象情報や避難情報の把握と対応(保護者との連絡や関係機関との連携)を図り、子どもたち・保護者の皆さんの安全を守るよう努めます。

満足度	㉔	子どもは通所を楽しみにしているか	74	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しみにしている(10)。</li> <li>・毎日通園したいほど好き。</li> <li>・絶対休みたくないと言う(2)。</li> <li>・外で遊べるのを楽しみにしている</li> </ul>	子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえるよう、引き続きニーズを把握し、努力していきます。
	㉕	事業所の支援に満足しているか	69	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく見てくださっている。満足している(5)。</li> <li>・たくさん話を聞いてもらって相談にもしてもらってとても助かっている。</li> <li>・もう少し話し合いの時間が持てればと思う(3)</li> <li>・ここでの支援が家庭や保育園で生かされているので満足している</li> <li>・子供が喜んでいるので満足している</li> <li>・午後は時間が短いと感じる</li> </ul>	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2020年3月10日

事業所名: 第2こばと園 職員数7人 配布数7人 回収数7人 割合100%

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5	2	園庭が狭いため、運動遊びの時には、近くの公園を利用している。	○園庭が狭いため、引き続き、散歩や近くの公園、山や海などの園外活動などにとりくむ。
	② 職員の配置数は適切であるか。	6	1	職員の配置基準は満たしているが、職員が休んだ際などには、本体施設のセンターから応援してもらっている。	○部屋は広いが、グループの人数や子どもの状態によっては2つのグループに分け、じっくりと活動できるようにとりくむ。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	6	1	古い店舗を改修して使用している。子どもたちにとって、安心して分かりやすく楽しく活動できる環境づくりに心がけ、改修や修繕、手立てを行っている。	○職員の配置基準は満たしているが、職員が休んだ際などには、本体施設のセンターから応援をおおぐとともに、職員体制整備・充実のための意見を関係団体の協議の場に挙げていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	清潔で心地よい環境であるよう、気を付けているが、不十分さがある。	○清潔で心地よい環境であるよう、保護者の協力も仰ぎながら努力する。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	前期と後期に分けて、職員会議、部門会議、ケース会議などを行い、目標設定と振り返りを行っている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	7	0	保護者の声を生かして改善に努めている	○担当者会議、研修、ケース会議、など、取り組みの振り返りや見直しを行っているが、時間をかけてじっくりと行うことが難しい。時間の使い方、働き方などを検討・工夫しながら、適切に行っていくよう努力する。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	7	0	公開している	○保護者評価、事業所の自己評価をもとに今後生かしていく。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	法人として第三者評価を実施している事業所はあるが、当園は未だ行っていない。	○第三者による外部評価は未実施であり、今後必要に応じて実施を検討する。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	1	必要な研修、希望する研修、自主研修などに参加しやすいよう、勤務体制等を配慮しているが、仕事の量が多く、研修の機会が少なくなっている。	○内部研修・外部研修などを計画的に行い、職員の学が意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	前期と後期に分けて、アセスメントやニーズ分析をした上で児童発達支援計画を立てている。	○第2こばと園では、ガイドラインに沿った支援を次のように行っているが、さらに充実させるように努める。 ①親子通園で楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように取り組んでいる。(発達支援)
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	0	全園児、年に1度は新版K式発達検査を実施し、アセスメントを行い、療育指針に生かしている	②親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいる。(家族支援)
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達支援ガイドラインに基づいて支援計画を立てているが、職員全体での共有が十分とはいえない。	③関係機関との連携、特に保育所や幼稚園・こども園などと併行通園している場合は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援している。(地域支援)
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	7	0	児童発達支援計画を集団で話し合っ立て、それに基づいて療育を行っている	○子どもに合わせた適切な支援を行うよう、アセスメントを行い、児童発達支援計画を立てて活動プログラムを考え、日々の振り返りを通して次の活動にフィードバックしている。時間的な余裕がない。職員全員で共有したり、明文化することに努める。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	グループ担当者会議などで立案している	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	グループごとに子どもたちの興味関心や課題に合わせた活動内容を工夫している。	
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	集団療育・親子通園が基本である。個別活動は、発達検査や懇談の形で1人年1回は行うようにしている。		

適切な支援の提供	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7	0	グループリーダーが中心となり、活動の流れや役割分担などを立案し、全員で確認している。	○日々短時間でも時間を有効活用し振り返り、見直しを行っている。日々の反省の中で、常に保護者の声などをフィードバックして、療育の質の向上に生かそうと努力している。 ○活動プログラムや活動内容は、子どもの状態に合わせ適切に行われていると思われるが、さらに研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努める。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	0	十分な時間が持ちにくい、できるだけ短時間でも行うように努力している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	記録は必ず書くようにしているが、それを職員で共有し支援に生かすことが課題である。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	7	0	子どもの状態の評価は常に職員間でしているが、それを明文化することが不十分である。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6	1	本体施設のセンターに相談支援事業所あり、子どもの情報を共有しながら行っている。	○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関(母子保健、ネウボラ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど)と連携し支援を行い、子どものすこやかな育ちを支えることができるように努める。 ○医療的ケア児ではない場合でも、必要があるときには、医療機関への紹介や情報共有などを行う。 ○併行通園している保育所、幼稚園、子ども園との連携は重点を置いており、療育懇談会(年1回、グループごと、公開療育と懇談会)を設けて直接会って情報共有したり、研修会(療育研修会・聴覚障害研修会など)を開催する。 ○移行支援、他機関との交流や情報共有、研修などについては、継続して行う。 ※利用されている園児数が多く、必要に応じて、ニーズの高いケースより連携支援や移行支援などを行っている現状である。計画性をもって行っていく必要がある。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	6	0	入園時に、必要に応じて紹介元の保健師、こども発達支援センター、保育所などと連携を図っている。子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもに対して、必要に応じて行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	4	0	(現在はなし)	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか。	4	0	(現在はなし)	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	併行通園であるため、日常的に必要なに応じて連絡を取り合ったり、年に1回はグループごとに園に集まってもらって公開療育と懇談会を行って、情報共有と研修を行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	保護者の了承を得て、文章での情報共有を行う。さらに、保護者のニーズや子どもの状態によっては、連携会議や相互の訪問などによって、情報共有や相互理解を図る場合もある	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	7	0	協議会(広島県東部幼児通園機関協議会、福山地域児童発達支援事業連絡協議会など)に参画し、研修会や実践交流会、公開療育など、積極的に参加している。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	4	3	併行通園であるため、日常的に保育所、幼稚園、こども園との交流を行っている。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1	市の障がい者総合支援協議会発達支援部会や療育支援事業担当者会議などに管理者が参加しているが、その内容を共有することは不十分である。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	親子通園であり、活動のあとに保護者との懇談会を持ち、日常的に子どもの状態や課題、かわり方などについて確認しあい、子育ての相談にのっている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	6	1	親子通園、保護者懇談会に於いて、日頃から子どもの見方、かわり方について話し合い、学びあい、支援している。年数回の保護者教室や学習会などを行い、学びの場を設けている。	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	入園時(契約時)と年1回、年度初めに行っている。	<p>○ケースの多さから、一人ひとりに丁寧に児童発達支援計画などの説明が不十分である。今後は、前期・後期に1回ずつ児童発達支援計画の提示を含めて懇談を行うよう努力する。</p> <p>○日常的な保護者への説明や相談は行っているが、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、職員が声をかけていくよう努力する。</p>
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の供給すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	グループごとに説明をして、同意は得ているが、一人ひとりに丁寧にこまかくできてはいない。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	親子通園であり、日常的に相談に応じ、必要な助言と支援を行っている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	7	0	保護者会はないが、グループごとの保護者同士のつながりができるように努力している。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	日常的に、相談に応じるように努めている。苦情や申し入れに関しては、苦情解決窓口を設け、第三者委員も紹介している。が、実際は日常的に保護者から担当職員に相談があり、迅速に対応するよう心掛けている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	本体施設「ゼノ」こぼと園が発行している園だよりを配布している。あわせて第2こぼと園の月々の予定表を兼ねてお知らせを配布している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	7	0	お互いを知り合い理解し合うことと、個人情報の保護とのバランスをとるように留意しながら保護者支援をしている	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	電話、連絡帳、直接対話などいろいろな手段で意思疎通を図っている。ことばだけでは理解しにくい子どもたちには絵カードや写真などの視覚支援ツールをつかっている。保護者への連絡は、緊急の場合はメールで、行事のお知らせなどは文書で行っている。情報がすべての保護者に行き渡るように、ことばだけではなく文書で知らせるよう努力している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	本体施設「ゼノ」こぼと園の夏祭りに案内している。第2こぼと園の避難訓練時には、近隣のお店などに理解を求めている。	

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	緊急時対応マニュアルを作成しており、年度初めに、また必要に応じて職員・保護者で確認しているが、より具体的な発生を想定した訓練をする必要がある。	<p>○想定される緊急時等のマニュアルを漏れないように策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施するように努める。</p> <p>○避難訓練を、各グループ年1回は実施するように計画する。</p> <p>○全国いたるところで様々な災害が生じている状況もふまえ、緊急時の気象情報や避難情報の把握と対応（保護者との連絡や関係機関との連携）を図り、皆の安全を守るよう努める。</p> <p>○危険箇所気づいたらすぐに対応するようにはしているが、マニュアル化が必要である。</p> <p>○各地で悲惨な虐待事件が報告される中で、虐待や身体拘束に関する研修を行い、日常に引き付けて考え、対処できるように取り組む。</p>
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	火災の避難訓練は毎月行い、すべてのグループで年1回は行うようにしている。水害などは実施できていない	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	年度初めに調査票で健康状態を把握し、一覧表を作り職員間で共有している。年度途中で変化のあった場合は更新する。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	指示書を提出してもらい、本体施設の「ゼノ」こぼと園の栄養士の指導を受けて対応している。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	4	2	ヒヤリハットは日々の終礼時に確認共有し、具体的な対策を検討しているが、「ヒヤリハット」という用語を使っていないため周知できていない。また、文書にして残し共有することが課題である。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止啓発の研修会に参加し、伝達研修を行っている。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束行動制限のガイドラインを作成し、職員研修を行い、保護者よりに同意書をいただいた。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。